

地域づくり活動NPO事業助成事業 実績報告

事業区分 (1 — 101)

団体名	(公社)兵庫県精神福祉家族会連合会	代表者名	(職名) (氏名) 会長 新銀 輝子
事業名	みんなネット近畿ブロック家族の集in兵庫2024『精神科医療の未来を皆で考えよう』		

< 事業実施実績 >

年月日 定例は「月1回」 「毎○曜日」等 で記入	場所	参加者 一般 (スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
1月26日	兵家連602会議室	0人 6人	準備委員会(第1回)
2月15日	兵家連602会議室	0人 6人	準備委員会(第2回)
3月20日	兵家連602会議室	0人 6人	準備委員会(第3回)
4月3日	兵家連602会議室	0人 6人	準備委員会(第4回)
5月15日	兵家連602会議室	0人 6人	準備委員会(第5回)
6月14日	兵家連602会議室	0人 6人	準備委員会(第6回)
7月3日	兵家連602会議室	0人 6人	準備委員会(第7回)
8月7日	兵家連602会議室	0人 6人	準備委員会(第8回)
9月11日	兵家連602会議室	0人 7人	準備委員会(第9回)
10月2日	兵家連602会議室	0人 7人	準備委員会(第10回)
11月6日	兵家連602会議室	0人 7人	準備委員会(第11回)
11月23日	ピフレホール	180人 10人	近畿ブロック家族の集いin兵庫2024 11:00~16:30 講師:夏苺 郁子氏(精神科医)オンライン参加可能 シンポジウム 宮軒 将氏・北岡 祐子氏 他3名

< 効果と成果 >

これまで、精神科医師・精神科病院と家族会・福祉関係者とで、『今後の精神医療についてはどうあるべきか』等をテーマに対話がなされたことは殆どなかった。お互いの立場・主張には隔たりがあるのが実態であった。精神科病院では虐待・身体拘束・虐待が後を絶ちません。精神的な病は単に医療だけでは良くならないことは今や常識です。

今回のシンポジウムでは、精神科医師と精神科病院協会と家族会・福祉関係が初めて討論の場を持ち、病院側から精神科病院自身が考えている問題点や将来像を提示して貰った。その対策及び将来像を初めて見せて頂き、我々と同じ目線で考えて頂いていることが初めて分かった。

国の基本方針の『精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築』ひいては共生社会の実現にむけて問題意識と改善して行こうと言う意識を共有することが出来た。今後、兵庫県精神科病院協会と兵家連と行政が定期的に意見交換会を開催して、連携して活動して行きたい。今後、精神障害者の医療費助成や福祉サービス改善等については精神科病院と家族の両方が望む政策で有り、連携して行政に要望していきたいと考える。

< 今後の展望 >

令和6年度政府補正予算案では、精神科病院の病床削減が提案され、1床減少で410万円給付金支給が検討されている。現在の精神科病院の病床を32万床から10万床迄削減する等の精神科病院も含めた地域医療計画が検討されています。このため、地域移行を重点的に進める精神科病院と認知症患者を重点対象とする精神科病院に2極化していきます。シンポジウムでは、精神科病院は、今後継続的な通院体制のみならず、グループホームの運営、訪問診療、様々な作業所運営やデイケア、相談支援を行うと共に、如何に地域に定着した安心した精神科病院にしていくかを提言された。兵家連も精神科病院協会や精神保健福祉士協会等と共に、虐待問題が発生しない、家族を安心して預けられる精神科病院の運営のために、入院患者訪問制度等を支援していきたいと考えています。又、精神科病院協会との定期的な意見交換会を実施して家族の想いを伝えていきたいと考えます。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動NPO事業助成金	250,000
自己資金等	393,170
合 計	643,170

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経 費	講演者謝金	90,000	90,000
	講演者交通費	25,980	25,980
	会場費	124,047	84,700
	その他(チラシ,資料印刷費等等)	174,096	49,320
	小 計	414,123	250,000
間接経費(一般管理費)		229,047	0
合 計		643,170	250,000